令和 8 年度　第 1 回日本遺産「桑都物語」推進協議会　総会 議事録

日時:令和 8 年（2026 年）7 月 2 日（木）14:00～14:40

会場：八王子市役所　全員協議会室

※特記のない限り日本遺産「桑都物語」推進協議会の名称は「協議会」と表記する。

1　開会

【名誉会長】

- 日頃より八王子市政、特に日本遺産事業にご理解・ご協力いただき感謝する。
- 日本遺産総括評価・継続審査については、5 月 25 日に現地調査が実施され、8 月頃に結果公表と聞いている。
- 8 月には、八王子花火大会、八王子まつりが開催される。特に八王子まつりにおいては、令和 8 年 8 月 8 日と八並びの日に開催。この日を「八結びの日」として、東京都と連携して盛り上げる事業を実施する。
- 国への補助金申請について、不採択となった事業がある。国の補助金等をしっかり確保すべく、皆様からのアドバイスをいただきながら、次の申請に向けて努めていく。

【会長】

- お忙しい中、総会に出席いただき感謝する。
- 名誉会長から話のあったとおり、文化庁の補助金が不採択となり、事業をペンディングしている状況である。今後、再申請に向けて進めていきたいと考えている。

【委員】

- 令和 7 年度第 3 回総会において皆様から承認いただいた「令和 8 年度事業計画」のうち、文化庁の日本博補助事業について、5 月に申請を行ったが、先日、不採択との通知を受けた。
- 委員の皆様より多大なるご期待をいただいたにもかかわらず、このような結果となったこと、心よりお詫び申し上げる。
- 詳細については、後ほど事務局より説明するが、文化庁からは二次募集の案内も示されている。今回の結果を真摯に受け止め、再申請に向けて検討を進めていきたい。

事務局より、配布資料の確認、委員の変更及び代理出席者について紹介。

総会の成立

出席者数が過半数となるため、本会は有効に成立する。

・ 出席者数：２４名
・ 欠席者：1名

２　議事

議案

（1）第1号議案　日本遺産「桑都物語」推進協議会規約の改訂について

【会長】

・　第1号議案「規約の改訂」について、事務局より説明をお願いする。

【事務局】

・ 構成団体の名称変更及び八王子市の組織改正に伴い、規約第4条・第12条を改訂する。
　第4条：株式会社ジェイコム東京　→　JCOMマーケティング株式会社
　第12条：産業振興部　→　経済産業部

【会長】

・　規約の改訂について、賛成の方は拍手をお願いする。

⇒拍手で承認

（2）第2号議案　役員の選任について

【会長】

・　第2号議案「役員の選任」について、事務局より説明をお願いする。

【事務局】

・　監事2名のうち市民活動推進部長が4月1日付で人事異動となったことから、5月末までに監査を行うため、規約の委任条項を適用し、決裁により監事の代理を会長が定めた。
・　これにより現職監事1名及び監事代理による令和7年度決算監査を実施し、監査報告書を調製した。
・　監事に、八王子市市民活動推進部長の佐藤 晴久委員を選任したい。

【会長】

・　監事の選任について、賛成の方は拍手をお願いする。

⇒拍手で承認

（３）第 3 号議案　令和 7 年度事業実績について

（４）第 4 号議案　令和 7 年度収支決算について

【会長】

・　第 3 号議、第 4 号議案については、相互に関連するため一括で説明をお願いする。

＜事業実績＞

【事務局】

総会

・　令和 7 年度は 7 月、1 月、3 月に開催。

主なイベントへの出展

・　日本遺産フェスティバル in 倉敷（10 月）
・　日本遺産マルシェ（2 月）

令和 7 年度の主な事業

・　人材育成事業：外国語ガイドボランティア育成事業
・　普及啓発事業：タブロイドブック制作
・　調査研究事業：アニメコンテンツを活用した聖地巡礼マップ等制作
・　情報コンテンツ事業：「クイズ de ポスター」制作（会場に掲示）
・　その他：次期地域活性化計画策定支援業務
・　日本博 2.0 事業：音声ガイドサービス、プロモーション動画等制作

＜収支決算＞

【事務局】

・　収入・支出ともに 66,652,971 円、執行率は約 91%。財源については、八王子市からの負担金、文化庁業務委託費及び雑入となる。なお、文化庁業務委託費については、概算払いとなったことから、八王子市からの貸付金は発生していない。
・　物販会計について、繰越金を含め収入合計は 5,862,821 円、そこから経費を差し引いた 3,089,845 円を令和 8 年度に繰り越しした。

【会長】

・　事業実績、収支決算について、質問等はあるか。

⇒質問等なし

・　続けて第 5 号議案「監査報告」について、監事から報告をお願いする。

【監事】

・　5 月 29 日に、令和 7 年度収支決算の監査を実施。決算書・収支差引簿・関係書類について監査した結果、いずれも適正に執行されていたことを確認できたため、ここで報告する。

【会長】

・　それでは第 3 号議案、第 4 号議案、第 5 号議案について、特に意見等なければ拍手で承認をお願いする。

⇒拍手で承認

３　報告事項

【会長】

・　各報告事項について、事務局から説明をお願いする。

【事務局】

日本博事業の不採択について

・　文化庁「日本博による地域固有文化コンテンツ創出補助事業」について、5 月 18 日に補助金の申請を行ったが、6 月 30 日に不採択となった旨の通知があった。
・　不採択の理由については、総事業費に対しての目標値の低いことから、補助金を活用せずとも自己資金で実施できるのではないかといった指摘等を受けた。
・　7 月から予定していた事業の予算執行を見合わせるとともに、7 月 21 日から行われる二次募集について、指摘を踏まえ、事業内容を精査したうえで再度申請に向けて進めていく。

桑都の杜の整備状況について

・　桑都の杜は、令和 8 年 10 月 3 日（土）オープンを予定しており、順調に進んでいる。
・　「八王子歴史・郷土ミュージアム」については、「桑都日本遺産センター八王子博物館」の日本遺産の情報発信機能を継承するとともに、さらなる機能の拡充を図っていく。

日本遺産総括評価・継続審査について

・　5 月 25 日に実施された現地調査については、文化庁と日本遺産審査評価委員により、八王子織物工業組合の多摩織工芸館、高尾山及び髙尾山薬王院を視察し、高尾 599 ミュージアムで意見交換会を実施した。

・　現地調査の対応にあたっては、協議会構成団体の皆様にもご協力いただいたため、この場をお借りして御礼申し上げる。
・　審査の総括としては、3月に提出した書類審査については、各委員から概ね良好な評価をいただいており、これまでの取組実績や入口戦略、民間事業者との連携、多様な団体の参画による推進体制が評価された。桑都の杜を核とした今後の展開についても大きな期待を寄せられた。
・　現地調査の審査評価委員からは今後の発展に向けた助言もいただいており、単に文化財の解説にとどまらず、地域の魅力をストーリーとして伝える人材の育成や、高尾山の来訪者を市内へと誘導する周遊施策、インバウンド対応強化の必要性。民間主体により持続可能な推進体制の構築が重要であるとの助言をいただいた。

八王子市版「笑顔と学びのプロジェクト」について

・　令和6年度に引き続き、各小中学校において、高尾山薬王院、八王子芸妓及び八王子車人形の多様な体験活動の機会を提供した。

日本遺産ロゴマーク使用申請及び後援名義使用申請の状況について

・　日本遺産ロゴマーク
　申請件数：22件
　その他の使用実績（申請不要）：36件
・　後援名義使用申請件数：6件

４　その他

【委員】

・　日本遺産総括評価・継続審査にご対応いただいた皆様に感謝する。
・　八王子は、高尾山薬王院、八王子芸妓などをはじめ、個々に魅力的な構成文化財がある。日本遺産の良い点としては、それらがストーリーとして示され昔から現在へとつながっているところ。協議会の皆様とターゲット設定など検討していきながらストーリーをPRしていけたらと考えている。

【委員】

・　文化庁補助金の不採択については残念ではあるが、二次募集があるとのことで、大変だと思うがぜひ採択に向けて検討を進めていただきたい。

【委員代理】

・　日本遺産総括評価・継続審査について、当日は私も意見交換会に参加したが、その中で、ストーリーテラーの育成について指摘があった。我々も日頃の業務の中で、どのように日本遺産ストーリーを伝えていくか検討しているところである。

【委員代理】

・　弊社では、高尾山口駅、高尾駅、京王八王子駅などの市内の主要な駅を担っているが、ストーリー性は大事。視認性、ストーリーを意識して、今後の誘客につなげていきたい。

【委員】

・　日本遺産総括評価・継続審査の対応いただいたこと感謝する。
・　ストーリーとしての魅力発信について、八王子には様々な魅力があるが、点と点をつなげ、面として発信していくことは容易くはないと思われる。
・　弊社においても同様の課題はあり、各駅、各沿線の価値をどのように高め、地域の魅力を発信していけるか日々検討しているところである。

【委員】

・　本日の総会への出席にあたり、お山から下りてきたが、山中では霧が立ち込めており、まさに霊気満山を象徴するような景色であった。
・　薬王院としても、お参りに訪れた方や観光の方などに対し、日本遺産や霊気満山の意味などを伝えているところである。また、八王子のみならず、近隣の市町村にも、高尾山を含めた八王子の歴史を積極的に発信しているところであるが、まだまだ知らない人が多いという印象。諦めずに今後も取り組んでいきたい。
・　本日、ポスターを初めて拝見したが、日本遺産のストーリーを語る素晴らしい取組である。また、タブロイドブックでは、それぞれの構成文化財の紹介をはじめ、山伏の装束をわかりやすく紹介していただいたことは大変ありがたい。
・　「笑顔と学びのプロジェクト」などの体験を通じて、子どもたちの日本遺産の認知度は 100％と伺っているが、今後、日本遺産の継続審査を重ねていく中で、その子どもたちが社会に出て、日本遺産を発信できるようになっていることを期待している。

【委員代理】

・　推進協議会の取組を拝見したが、素晴らしい内容である。
・　日本遺産の認定が継続された際には、第 2 ステージということで、日本遺産のストーリーを自分事として、八王子の強みを活かしていく必要があると考えている。
・　八王子の転入者は増えており、学生も多い。昔から八王子に住んでいた人は、機織りの音は馴染みのあるものであったが、そのような八王子ならでは歴史・文化を、次の世代にも受け継いでいきたい。

【委員】

・　会長が不在の中ではあるが、商店会連合会としても引き続き日本遺産を盛り上げていけるよう協力していきたい。

【委員】

・　本日の総会を経て、情報発信とストーリーの重要性を改めて実感したところである。当金庫でも SNS 等を通じて日々発信しているところであるが、引き続き日本遺産の発信に協力していきたい。

【委員代理】

・ 意見交換会において、高尾山から市内への周遊やインバウンドの誘客について意見があったことを踏まえ、桑都テラスにおいて八王子芸妓や八王子車人形などの伝統文化に関する催しを定期的に開催することで、誘客につなげていきたい。

【委員】

・ 日本遺産「桑都物語」は、昔を回顧するだけではなく現代にも続いているというもの。弊社としても、八王子市民をはじめとして、日本遺産のストーリーの発信に協力していきたい。

【委員】

・ 日本遺産は大変価値のあるコンテンツと認識しており、それらを私たちが大切にしていくという気持ちが大切ではないかと感じている。青年会議所としても、その認識をもって日本遺産の認知拡大に取り組んでいきたい。

【委員】

・ 桑都の杜について、10 月開設に向けて順調に進んでいる。当施設は日本遺産の発信においても有意義な場所となるため、皆様からもご意見をいただきながら運営していきたいと考えている。
・ また、桑都の杜は京王片倉駅からも近く、高尾山からの誘客につなげていくとともに、桑都の杜から JR 八王子駅、そして中町などの新たな周遊促進にもつなげていきたい。

【委員】

・ 日本遺産のストーリーは、加住地域や由木地域をはじめ広く関連しているものであり、八王子市全体の活性化につながることを期待している。引き続き委員の皆様と連携して取り組んでいきたい。

【副会長】

・ 日本遺産の認知度について、まだまだ足りないと感じている。
・ 八王子観光コンベンション協会では、日本遺産特別体験の開催のほか、水行体験や火渡り祭など、髙尾山薬王院と連携して、日本遺産の魅力発信に取り組んでいる。
・ 日本遺産を身近に感じてもらうため、ガイドツアーも実施している。高尾山で 16 回、八王子城跡で 3 回、滝山城跡で 2 回実施し、高尾山だけでなく八王子全体を知ってもらう取組を進めている。
・ 今回の日本遺産ポスターのようなこれまでとは違った発信方法も重要で、我々では「近くて、たのしい、日本遺産。高尾山」という明るい感じのキャッチコピーで、若い世代にも積極的に発信している。
・ ストーリー性を伝えていくことは課題であると認識している。今後検討していきたい。

【副会長】

・　8月公表予定の審査結果を踏まえ、今後も教育委員会として日本遺産の普及啓発などに取り組んでいきたい。
・　日本遺産を続けていくと観点では、人材育成は重要。各学校において、日本遺産に関する学習を取り入れているが、個々の構成文化財を知るのではなく、特に中学生においてはストーリーを語れるように、桑都の杜も活用していきながら取り組んでいきたいと考えている。

【会長】

・　皆さんの意見を要約すると、日本遺産のストーリー性が大事であることが再確認できた。
・　事務局には、推進事業について厳しく意見を伝えているところであり、事務局の自己満足とならないように、効果的に予算を執行し、皆さんの期待に応えられるようにしていきたい。

事務連絡

【事務局】

・　8月に予定されている日本遺産総括評価・継続審査の結果については、公表され次第、速やかに報告する。

５　閉会